

2005年12月16日

大学図書館の運営評価：アウトカム評価を中心に

戸田あきら

1. 大学の認証評価

認証評価の動き

評価基準

アメリカの評価基準

2. 図書館運営と評価

運営モデル

評価の視点と手法

3. アウトカム評価

アウトカム及びアウトカム評価とは

図書館が目指すアウトカムは？

ハーノンの提案した方法

全般的な学習成果との関連

4. まとめ

基 準

[理念・目的]

1 大学は、それぞれの理念に基づき適切な目的を設定しなければならない。

[教育研究組織]

2 大学は、それぞれの理念・目的を踏まえて、適切な教育研究上の組織を整備しなければならない。

[教育内容・方法]

3 大学は、十分な教育上の成果をあげるための教育内容と方法を整えなければならない。

[学生の受け入れ]

4 大学は、理念・目的に応じた、適切な学生の受け入れ方針を定め、公正な受け入れを行わなければならない。

[学生生活]

5 大学は、学生が学修に専念できるよう、学生生活と学修環境に配慮しなければならない。

[研究環境]

6 大学は、教員が十分な研究活動を行えるよう、研究環境に配慮しなければならない。

[社会貢献]

7 大学は、広く社会に貢献するために、社会との連携と交流に配慮しなければならない。

[教員組織]

8 大学は、教育研究を行うために、適切な教員組織を整備しなければならない。

[事務組織]

9 大学は、教育研究を支援するために、適切な事務組織を整えなければならない。

[施設・設備]

10 大学は、十分な施設・設備を整備し、これを適切に管理・運用しなければならない。

[図書・電子媒体等]

11 大学は、図書・電子媒体等の資料を体系的・計画的に整備し、利用者の有効な活用に応じなければならない。

[管理運営]

12 大学は、その機能を円滑かつ十分に発揮するために、明文化された規定により適切な管理運営を行わなければならない。

[財務]

13 大学は、十分な財政的基盤を確立するとともに、財務運営を適切に行わなければならない。

[点検・評価]

14 大学は、教育研究水準を維持・向上させるために、組織・活動について不断に点検・評価しなければならない。

[情報公開・説明責任]

15 大学は、大学の組織・運営と諸活動の状況、およびそれらの点検・評価結果について情報公開し、社会に対する説明責任を果たさなければならない。

大学基準の解説

趣旨

ここでは、大学のあり方について明らかにするとともに、大学基準の意義について述べている。

1 大学のあり方について

大学は、高度の教育および学術研究の中心機関として、真理の探究と人材育成に努め、不断に大学と社会の活動全般を検証し、大学としてふさわしい教育研究水準の充実向上と、人類社会の福祉の向上に資する責務を負っている。

今日における学術研究の高度化、社会・経済構造の変動、国際化の進展といった諸要因は、大学の高度化・多様化・個性化の促進を要請している。一方で、大学は高度な専門性を有する知識者集団として、社会の動向を建設的な見地から批判的に検証し、より良い社会の実現のための提言や知識の提供を行うことが、社会から求められている。大学は、これらの社会

大学基準協会	大学基準	大学基準の解説	学士基準	修士・博士基準
	[理念・目的]1.大学は、それぞれの理念に基づき適切な目的を設定しなければならない。	大学は、自ら掲げる理念・目的を具現化するために…諸条件を整備し、その機能を十分に発揮するよう… …その達成に向け総力を結集すると同時に、理念・目的に照らして充実向上のための検証を行なう必要がある。	(学士課程の使命および目的、教育目標)	(修士・博士課程の使命および目的、教育目標)
	[教育内容・方法]3.大学は、十分な教育上の成果をあげるための教育内容と方法を整えなければならない。	理念・目的を達成するために、適切な教育課程を体系的に編成し、それをもとに適切な方法で教育をおこなう… …以上のような様々な努力を積み重ねるとともに、教育効果の測定法の開発に努め、教員の授業内容、授業方法の改善と向上に向けた様々な措置を講ずる必要がある。	3 教育内容・方法等 (1)教育課程等 教育課程の編成 加えて、国際化、情報化の進展等に留意して、実践的な語学能力、情報活用能力等の育成を図るといふ観点にも十分に配慮する必要	略
[図書・電子媒体]11.大学は、図書・電子媒体等の資料を体系的・計画的に整備し、利用者の有効な活用に応じなければならない。	11 図書・電子媒体等について 大学における教育研究を推進するためには、図書、学術雑誌、電子媒体等の学術情報の整備が極めて重要である。 大学は、適切な規模の図書館を配備し、質・量ともに十分な水準の学術情報資料を系統的に集積し、その充実に配慮するとともに、その効果的案利用を促進するために必要な措置を講じなければならない。また、図書館ネットワーク等を利用した学術情報の広域的な活用促進のための方策を講じることも必要である。また社会への学術研究の情報提供のため、大学博物館、研究成果の展示室等の学術情報発信施設を整備することが望ましい。	11 図書館等 学生の主体的学修の促進等を図るために、学生閲覧室の座席数を学生数に応じて適切に整備するとともに、必要十分な図書等を体系的に整備しておく必要がある。また、効果的な図書館利用を可能とするための図書館利用のガイダンス、学内外の資料の閲覧・貸出業務、レファレンス等、図書館利用者に対する利用上の配慮を十分に行う必要がある。さらに、1年間の開館日数や、授業の終了時間を考慮した開館時間等についても配慮が必要である。 また、学術研究の高度化、国際化、多様化に対応して、電子図書館の開設をも考慮することが望ましい。	略	11 図書館等 研究科等は、その教育目標に応じて、必要な図書・電子的媒体等の資料を体系的、計画的に整備し、必要に応じてそれらの保管および利用のために固有の施設を設けることが望ましい。夜間開講の教育課程を設けている場合は、開館時間についての配慮が必要である。また、学術研究の高度化、国際化、多様化に対応して、データベースの構築に努めるとともに、電子図書館の開設をも考慮することが望ましい。

	基準	趣旨	基本的な観点
評価・学位授与機構	基準1 大学の目的 1-1 大学の目的(…)が明確に定められており、その内容が学校教育方に規定された、大学一般に求められる目的に適合するものであること。 1-2 目的が、大学構成員に周知されているとともに、社会に公表されていること	本評価においては、大学の個性や特色が十分に発揮できるよう、各大学に対して教育研究活動に関する「目的」の明示を求め、大学の目的とは、大学の使命、教育研究活動を実施するうえでの基本方針、及び、要請しようとする人材像を含めた、達成しようとしている基本的な成果等を言います。 これらのことは、各大学の研究活動を実施・発展させるとともに、その成果を適切に評価するためにも不可欠	1-1- 目的として、教育研究活動をおこなうにあたっての基本的な方針や、要請しようとする人材像を含めた、達成しようとする基本的な成果等が、明確に定められているか。 1-1- 目的が、学校教育法第52条に規定された、大学一般に求められる目的から外れるものでないか。 1-1- 大学院を有する大学においては、大学院の目的が、学校教育法第65条に規定された、大学院一般に求められる目的から外れるものでないか 1-2- 目的が、大学の構成員(教職員及び学生)に周知されているか 1-2- 目的が、社会に広く公表されているか
	基準6 教育の成果 教育の目的において意図している、学生が身につける学力、資質・能力や養成しようとする人材像等に照らして、教育の成果や効果があがっていること	・教育活動によって学生がどのような知識、技術、態度を身に付け、どのような人材となることを意図しているのかという点は、極めて重要 ・教育の成果を、適切な情報をもとに正確に把握しなければなりません。	6-1- 大学として…身につける学力、資質、能力や養成しようとする人材像等についての方針が明らかにされており、その達成状況を検証・評価するための適切な取り組みが行われているか。 6-1- …単位取得、進級、卒業(修了)の状況、資格取得の状況等から、あるいは卒業(学位)論文等の内容・水準から判断して… 6-1- …授業評価結果等から見て…学生自身が判断しているか 6-1- …就職や進学といった卒業(修了)後の進路の状況等の実績や成果についての定量的な面を含めて 6-1- …卒業(修了)生や、就職先等の関係者から…在学時に身につけた学力や資質・
	基準8 施設・設備 8-1 大学において編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、有効に活用されていること 8-2 大学において編成された教育研究組織及び教育課程に応じて、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に整備されていること	・実現に必要とされる施設・設備が、学生、教員、職員等の関係者の利用のために十分に整備され、機能しているかどうかを評価します。 ・学生による学修のために必要な図書等の資料についても系統的に収集され、かつ実用に供していなければなりません。これらは同時に、大学の有する資産として、メンテナンスやセキュリティについても管理されていなければなりません。	8-1- …実現にふさわしい施設・設備(例えば、校地、…図書館その他付属施設等)が整備され、有効に活用されているか。 8-1- 施設・設備の運用に関する方針が明確に規定され、構成員に周知されているか。 8-2- 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に整備され、有効に活用されているか
	選択的評価基準B 正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況 B-1 大学の目的に照らして、正規課程の学生以外に対する教育サービスが適切に行われ、成果を上げていること	・生涯学習ニーズの高まり、地域貢献への要請等に対応し…より社会に開かれた大学になることが求められています。 ・これらの教育サービスとしては…図書館開放のような学習機会の提供等があげられます。 ・目的の達成状況について、目的・計画の策定と周知、実際の活動内容や方法の適切性、教育サービスの効果、改善のためのシステム	B-1- 計画や具体的方針が定められているか、また…周知されているか B-1- 計画に基づいた活動が適切に実施されているか B-1- …参加者が十分に確保されているか。活動の実施担当者やサービス享受者等の満足度等から判断して、活動の成果が上がっているか。 B-1- 改善のためのシステムがあり、機能しているか

高等教育評価機構	趣旨	基準	評価の視点
	<p>基準1 建学の精神・大学の基本理念及び使命・目的</p> <p>本基準は、大学の建学の精神・大学の基本理念及び使命・目的について規定するものです。大学は、創設時の建学の精神・基本理念、現在の大学の使命・目的がともに学内外に示されていることが求められます。</p>	<p>1-1 建学の精神・大学の基本理念が学内外に示されていること。</p> <p>1-2 大学の使命・目的が明確に定められ、かつ学内外に周知されていること</p>	<p>1-1- 建学の精神・大学の基本理念が学内外に示されているか。</p> <p>1-2- 建学の精神・大学の基本理念を踏まえた、大学の使命・目的が明確に定められているか。</p> <p>1-2- 大学の使命・目的が学生及び教職員に周知されているか。</p> <p>1-2- 大学の使命・目的が学外に公表されているか。</p>
	<p>基準3 教育課程</p> <p>…それぞれの教育目的に沿った教育課程が定められていることが求められます。</p>	<p>3-1 教育目的が教育課程や教育方法等に十分反映されていること。</p> <p>3-2 教育課程の編成方針に即して、体系的かつ適切に教育課程が設定されていること</p> <p>3-3 特色ある分野における教育内容・方法に工夫がされていること</p>	(略)
	<p>基準9 教育研究環境</p> <p>…教育研究上の目的を達成するために必要な教育研究環境を整備し、機能的に運用されていることが求められます</p>	<p>9-1 教育研究目的を達成するために必要なキャンパス(校地、運動場、校舎等の施設設備)が整備され、適切に維持、運営されていること。</p> <p>9-2 施設設備の安全性が確保され、かつ、快適なアメニティとしての教育研究環境が整備されていること。</p>	<p>(いくつかの項目に分かれているが)</p> <p>目的を達成するために施設設備(等)が適切に整備、維持、運営、活用されているか</p>

[Main Directory](#)[Accreditation Standards
and Related Policies](#)[Eligibility
Requirements](#)[Accreditation
Standards](#)[Operational Policies](#)[General Policies](#)

Accreditation Standards

Standard One

Institutional Mission and Goals, Planning and Effectiveness

Standard Two

Educational Program and its Effectiveness

Standard Three

Students

Standard Four

Faculty

Standard Five

Library and Information Resources

Standard Six

Governance and Administration

Standard Seven

Finance

Standard Eight

Physical Resources

Standard Nine

Institutional Integrity

< 参考 >

・学校教育法

・大学設置基準

・日本の大学認証評価機関

財)大学基準協会

<http://www.juaa.or.jp/>

独)大学評価・学位授与機構

<http://www.niad.ac.jp/>

財)日本高等教育評価機構

<http://www.jihe.or.jp/>

・米国各地区基準協会

North Central Association of Colleges and Schools Higher Learning Commission

<http://www.ncacihe.org/>

Northwest Association of Schools, Colleges and Universities

<http://www.nwccu.org/>

Western Association of Schools and Colleges

<http://www.wascenior.org/wasc/>

New England Association of Schools and Colleges

<http://www.neasc.org/>

Middle States Commission on Higher Education

<http://www.msche.org/>

Southern Association of Colleges and Schools

<http://www.sacscoc.org/>

・Peter Hernon & Robert E. Dugan 『図書館の価値を高める : 成果評価への行動計画』永田ほか訳丸善 2005

・三輪眞木子 『情報検索のスキル』(中公新書 1714)2003.9

・Elizabeth W. Carter "Outcomes Assessment in a College Library: An instructional Case Study" Outcomes Assessment in Higher Education edited by Hernon & Dugan Libraries Unlimited 2004

・Elizabeth W. Carter "Doing the Best You Can with What You Have: Lessons Learned from Outcomes Assessment" The Journal of Academic Librarianship 28(1) p.36-41

・山田かおり「図書館利用教育の評価 : 嘉悦大学1年生を対象としたアウトカム測定の試み」大学図書館研究 No.73 2005.3 p.15-24